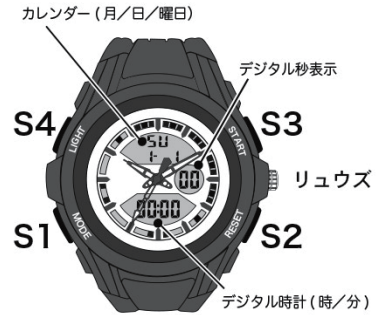




PKG483



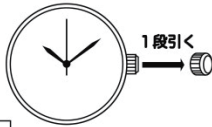
※枠内で点滅をしている液晶表示に機能的役割はありません。

## 【機能】

- 時刻、日付、曜日の表示 ■アラーム/再アラーム機能 ■時報機能
- クロノグラフ機能 [ストップウォッチ操作/スプリットタイム操作]
- デュアルタイム機能(アナログ3針時計・デジタル時計)
- アナログ精度: 月差約±20秒 ■デジタル精度: 月差約±90秒  
(\*使用電池: SR626SW) (\*使用電池: CR2025)

## 【アナログ3針時計の合わせ方】

アナログ時計の時刻合わせは秒針が12時の位置に来たらリュウズを引いて秒針を止めます。リュウズを回して時間を合わせます。設定時刻より分針を数分進めてから逆にもどし設定時刻に合わせます。時報サービス(TEL117)などに合わせて正確な時刻でリュウズを押し込みます。



※注意: アナログ3針時計とデジタル時計は運動して作動していません。別々の機械で作動し、機械精度も異なります。

## 【デジタル時計の見方】

- ・デジタル標準時刻表示では時/分/秒/月/日/曜日が表示されています。
- ・S1を押すごとに各種機能表示に切り替わります。
- ・S4を1回押すとELライトが光ります。

※ELライトは電気を多量に消耗します。必要最小限のご使用をお勧めします。

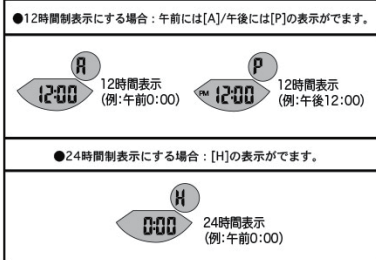
## 【デジタル時計の合わせ方】

### 1. 標準時刻表示の時間の合わせ方

- ①標準時刻表示のときS1を3回押すと、[秒]の表示が点滅します。S3を押すと[00]秒に戻ります。\*秒が[31~59]秒の間にS3を押すと[分]が1分繰り上がります。
  - ②次にS2を押すと[時]が点滅します。S3を押して合わせてください。\*時間表示はS3を押し続けると12時間制(午前/午後)と24時間表示(0時~23時)を繰り返し表示していきます。\*時間を設定する際は、午前/午後を正しく設定してください。
  - ③次にS2を押すと[分]が点滅します。S3を押して合わせてください。
  - ④次にS2を押すと[月]が点滅します。S3を押して合わせてください。
  - ⑤次にS2を押すと[日]が点滅します。S3を押して合わせてください。
  - ⑥次にS2を押すと[曜日]が点滅します。S3を押して合わせてください。
- ①~⑥の設定が完了したら、最後にS1を押して終了です。

※設定途中でなにも操作をしない場合、最大で2分後に自動的に通常時刻表示に戻ります。変更されている設定内容は確定しています。

### ②の説明図



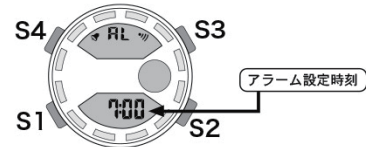
## 【デジタル時計のアラーム機能】

2. アラーム時刻の設定について ※アラーム時刻の設定はデジタル時計で行います。アナログ時計ではアラーム時刻の設定はできません。

デジタル標準時刻表示のときS1を2回押してアラーム設定表示に切り替えます。

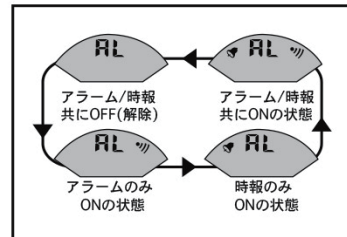
- ①現在のアラーム設定時刻が表示されます。S2を押すと[時]が点滅します。S3を押して設定をしてください。\*この時、自動的にアラームがONに設定されます。
- ②次にS2を押すと[分]が点滅します。S3を押して設定してください。
- ③次にS2を押して設定を完了します。設定をやり直す場合は、そのまま①~③の操作を行ってください。最後に設定を終了する時は、S1を押してください。デジタル標準時刻表示に戻ります。

※設定途中でなにも操作をしない場合、最大で2分後に自動的に通常時刻表示に戻ります。変更されている設定内容は確定しています。



### ※3. アラームのON(設定)/OFF(解除)と時報(チャイム)機能のON/OFFについて

◎アラーム設定表示の状態ではS3を押すごとにアラーム表示と時報表示が下記の順番で表示されます。



※アラームがONの状態では毎日設定時刻にアラーム音が鳴ります。\*アラーム音は約20秒鳴ります。\*アラーム音はS2/S3/S4を押すと止まります。(S1でアラーム音を止めると再アラーム機能が作動します)

### 4. 再アラーム機能について (スヌーズ機能)

アラーム音をS1を押して止めるとアラーム表示が点滅し、再アラーム機能が作動します。5分後に再びアラーム音が鳴ります。毎回、アラーム音をS1を押して止めた場合はアラーム表示の点滅が継続し、5分後に再度アラーム音が鳴ります。再アラーム機能を停止するには、S1以外を押してアラーム音を止めるボタンを押さずにアラーム音が止まるのを待ってください。再アラーム機能が停止している場合はアラーム表示の点滅が停止しています。

◎再アラーム機能が作動中はアラーム表示が点滅しています。



### 5. 時報(チャイム)機能について

時報機能がONに設定されていると毎正時に電子音の時報が鳴ります。ON/OFFの設定は上記(※3)の操作方法で行ってください。\*時報の時間は設定変更できません。

## 【デジタル時計のクロノグラフ機能】

標準時刻表示からS1を1回押すとクロノグラフモードになります。クロノグラフ機能にはストップウォッチ操作とスプリットタイム操作があります。

- ①ストップウォッチ操作
  - \*S3で計測の開始/停止を行います。計測停止中にS2を押すとリセットされます。
  - \*S1を押すと標準時刻表示にもどります。
- ②スプリットタイム操作
  - \*S3を押してストップウォッチをスタートさせます。計測中にS2を押すとスプリットタイム(途中累積時間)を表示します。その間もストップウォッチ計測は継続されています。
  - \*S2を押すと再び計測中のストップウォッチ表示にもどります。
  - \*S3を押して最後の記録を読みとります。
  - \*S2を押すとリセットされます。
  - \*S1を押すと標準時刻表示にもどります。

### クロノグラフ表示

